

# 感染症発生動向調査委員会報告 3月

## 《今月のトピックス》

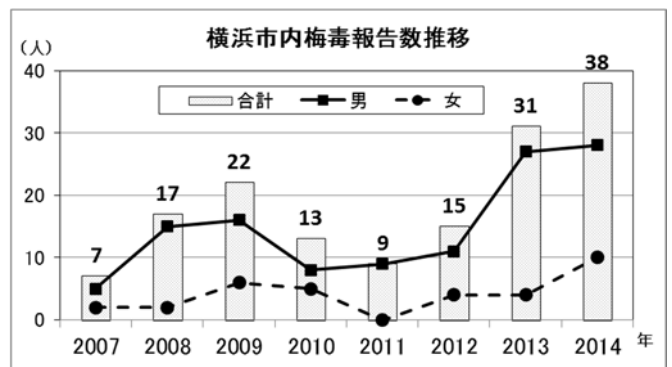
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多い状況が続いています。
- 梅毒の報告が近年増加傾向です。

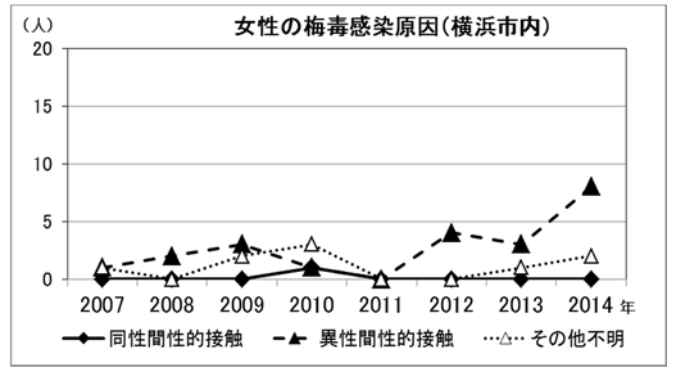
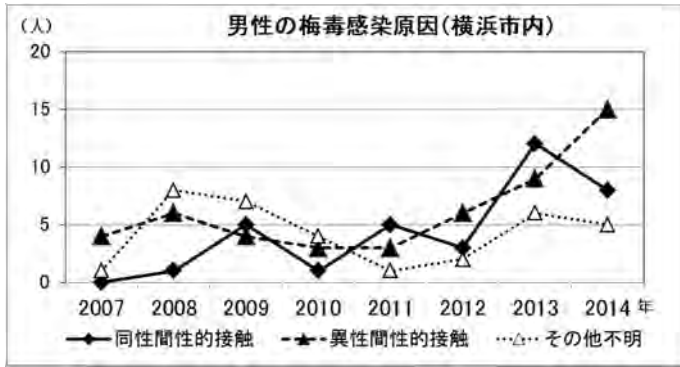
### 全数把握の対象

#### 【3月期に報告された全数把握疾患】

|                    |    |                       |    |
|--------------------|----|-----------------------|----|
| コレラ                | 1件 | 急性脳炎                  | 1件 |
| パラチフス              | 2件 | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症        | 2件 |
| E型肝炎               | 2件 | 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) | 8件 |
| レジオネラ症             | 3件 | 侵襲性肺炎球菌感染症            | 6件 |
| アメーバ赤痢             | 6件 | 梅毒                    | 3件 |
| ウイルス性肝炎            | 1件 | 風しん                   | 1件 |
| カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 1件 | 麻しん                   | 1件 |

- 1 コレラ:1件の報告がありました。フィリピンでの経口感染が推定されています。
- 2 パラチフス:2件の報告がありました。どちらもミャンマーでの感染が推定されています。
- 3 E型肝炎:2件の報告がありました。どちらも国内での経口感染が推定されています。1件では豚生レバー喫食歴が確認されています。E型肝炎の感染経路は、いわゆる途上国では患者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主で、時に飲料水を介する大規模集団発生が報告されています。一方、日本をはじめ世界各地では、E型肝炎は動物由来感染症として注目されています。ブタのE型肝炎ウイルス(HEV)感染が世界各地で報告されており、日本国内の調査でも2~3カ月齢のブタの糞便からHEV遺伝子が高率に検出され、出荷時のブタ(6カ月齢)の抗体保有率は90%以上でした。HEV遺伝子は、出荷されているブタレバーからも検出されており、注意が必要です。
  - ◆E型肝炎(国立感染症研究所)
- 4 レジオネラ症:肺炎型3件の報告がありましたが、それぞれ明確な感染経路等不明です。各症例について引き続き感染経路等調査中です。
- 5 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症5件と腸管外アメーバ症1件の報告がありました。腸管アメーバ症の5件のうち4件は国内での性的接触(うち同性間が1件、経口・異性間が1件、詳細不明が1件)による感染でした。残る1件は感染経路等不明でした。腸管外アメーバ症の1件はタイでの同性間性的接触による感染でした。
- 6 ウイルス性肝炎:B型肝炎の報告が1件ありました。性的接触による感染が推定されています。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:1件の報告がありましたが、院内集団感染等はありませんでした。
- 8 急性脳炎:1件の乳児の報告がありました。アデノウイルスによる感染が推定されています。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:2件の報告があり、1件は40歳代で血清型はA群(咽頭炎からの移行が疑われています)、もう1件は70歳代で血清型はG群(感染経路等不明)でした。
- 10 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):無症状病原体保有者5件、AIDS 2件、その他1件の報告がありました。6件は国内での同性間性的接触、1件はタイでの異性間性的接触、残る1件はインドでの感染が推定されていますが感染経路不明でした。
- 11 侵襲性肺炎球菌感染症:6件の報告がありました。70歳代以上が3件、60歳代が1件、10歳代が1件、幼児が1件でした。幼児は3回ワクチンを受けていましたが、他は予防接種歴を確認できませんでした。
- 12 梅毒:無症候期が2名(どちらも性的接触による感染で、1件は同性間、もう1件は詳細不明)、早期頭症梅毒Ⅱ期が1件(同性間性的接触)の報告がありました。すべて国内での感染が推定されています。梅毒は全国的に増加しており、厚生労働省では注意喚起のために「[梅毒に関するQ&A](#)」をホームページに掲載しています。横浜市内でも近年男女とも増加傾向にあり、男性では同性間性的接触、異性間性的接触ともに増加傾向にあります。





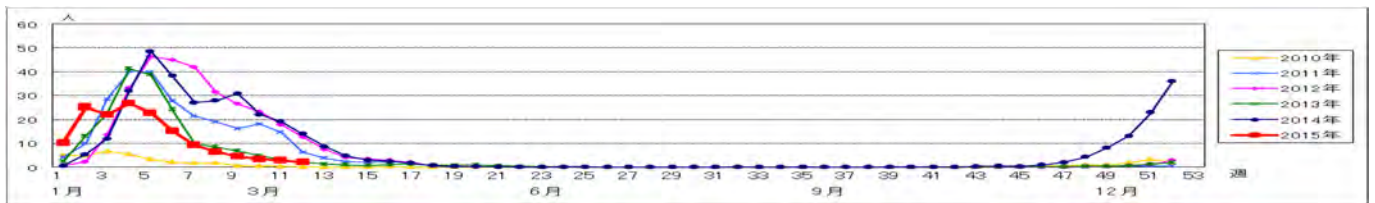
13 風しん:40歳代男性の報告が1件(臨床診断例)ありました。ワクチン接種歴はありませんでした。

14 麻疹:30歳代男性の報告が1件(検査診断例)あり、バリ島での感染が推定されています。ワクチン接種歴はありませんでした。

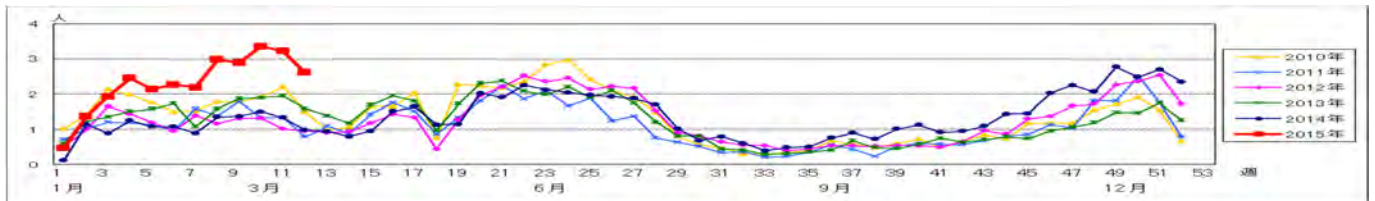
| 平成27年 週一月日対応表 |             |
|---------------|-------------|
| 第9週           | 2月23日～3月1日  |
| 第10週          | 3月2日～3月8日   |
| 第11週          | 3月9日～3月15日  |
| 第12週          | 3月16日～3月22日 |

### 定点把握の対象

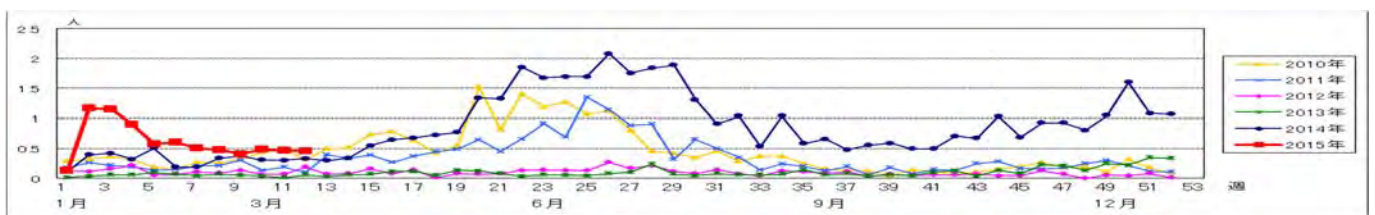
1 インフルエンザ:第12週は市全体で定点あたり2.15と、減少が続いています。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:第12週は市全体で定点あたり2.61と、報告の多い状況が続いています。



3 伝染性紅斑:第12週は市全体で定点あたり0.46ですが、区別では泉区2.00、瀬谷区1.50で報告が多くなっています。



4 性感染症:2月は、性器クラミジア感染症は男性が30件、女性が11件でした。性器ヘルペス感染症は男性が5件、女性が16件です。尖圭コンジローマは男性4件、女性が2件でした。淋菌感染症は男性が15件、女性が2件でした。

5 基幹定点週報:マイコプラズマ肺炎は第9週0.50、第10週0.25、第11週0.33、第12週0.67と、継続的に報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は、第9週0.50、第10週0.75、第11週0.67、第12週0.67と、報告が続いています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

6 基幹定点月報:2月は薬剤耐性緑膿菌感染症1件の報告がありました。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はありませんでした。

【 感染症・疫学情報課 】

## 2 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:3か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計16か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。また、インフルエンザ定点では特に冬季のインフルエンザ流行時に実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

### <ウイルス検査>

3月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点46件、内科定点15件、基幹定点8件で、定点外医療機関からは2件でした。

4月10日現在、ウイルス分離25株と各種ウイルス遺伝子34件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(3月)

| 主な臨床症状<br>分離・検出ウイルス | 上<br>気<br>道<br>炎 | 下<br>気<br>道<br>炎 | イン<br>フル<br>エン<br>ザ | 咽<br>頭<br>結<br>膜<br>熱<br>* <sub>1</sub> | 胃<br>腸<br>炎 | 発<br>疹<br>症 | 不明熱・<br>筋肉痛 |
|---------------------|------------------|------------------|---------------------|---|-------------|-------------|-------------|
| アデノ NT              | 1                |                  |                     |   |             |             |             |
| アデノ 3型              |                  | 1                |                     | 1                                       |             |             |             |
| アデノ 4型              |                  |                  |                     | 1                                       |             |             |             |
| インフルエンザ AH3型        |                  |                  | 8                   |   |             |             |             |
| インフルエンザ B型/ビクトリア    | 1                |                  | 2                   |   |             |             | 1           |
| インフルエンザ B型/山形       | 2                |                  | 8                   |   |             |             |             |
| パラインフルエンザ 3型        | 1                |                  | 1                   |   |             |             |             |
| パラインフルエンザ 4型        |                  | 1                |                     |   |             |             |             |
| ヒト メタニューモ           | 7                | 6                |                     |   |             | 1           |             |
| ヒト コロナ              | 1                | 1                | 2                   | 1                                       |             |             |             |
| 単純ヘルペス NT           | 1                |                  |                     |   |             |             |             |
| ライノ                 | 3                | 3                | 1                   |   |             |             |             |
| ボカ                  | 1                | 1                |                     |   |             |             |             |
| ノロ                  |                  |                  |                     |   | 1           |             |             |
| 合計                  | 4<br>14          | <br>13           | 18<br>4             | 2<br>1                                  | <br>1       | <br>1       | 1           |

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数、NT:未同定、\*1:アデノ感染症含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

<細菌検査>

3月の感染性胃腸炎関係の受付は、基幹定点から34件、その他が3件で、サルモネラが33件、腸管出血性大腸菌(O157:H7,VT2)、パラチフスA菌、コレラ菌(エルトール小川型)がそれぞれ1件ずつ検出されました。パラチフス菌はミャンマーへの渡航者から、コレラ菌はフィリピンへの渡航者から検出されました。小児科定点からはありませんでした。

その他の感染症は小児科から4件、基幹定点から7件、その他が149件でした。A群溶血性レンサ球菌2件(T1、T型別不能)とG群溶血性レンサ球菌1件は劇症型レンサ球菌感染症の患者から検出されました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(3月)

感染性胃腸炎

| 検査年月<br>定点の区別<br>件数 | 3月  |    |      | 2015年1月～3月 |    |      |
|---------------------|-----|----|------|------------|----|------|
|                     | 小児科 | 基幹 | その他* | 小児科        | 基幹 | その他* |
| 菌種名                 |     |    |      |            |    |      |
| 腸管出血性大腸菌            |     |    | 1    |            |    | 3    |
| チフス菌                |     |    |      |            |    | 1    |
| パラチフスA菌             |     |    | 1    |            |    | 4    |
| サルモネラ               |     | 33 |      |            | 33 |      |
| コレラ菌                |     |    | 1    |            |    | 1    |
| 不検出                 | 0   | 1  | 0    | 0          | 7  | 0    |

その他の感染症

| 検査年月<br>定点の区別<br>件数           | 3月  |    |      | 2015年1月～3月 |    |      |
|-------------------------------|-----|----|------|------------|----|------|
|                               | 小児科 | 基幹 | その他* | 小児科        | 基幹 | その他* |
| 菌種名                           |     |    |      |            |    |      |
| A群溶血性レンサ球菌                    |     |    |      |            |    |      |
| T1                            | 1   |    | 1    | 3          |    | 4    |
| T4                            | 1   |    |      | 3          |    |      |
| T28                           |     |    |      | 2          |    | 3    |
| 型別不能                          | 2   |    | 1    | 4          |    | 1    |
| G群溶血性レンサ球菌                    |     |    | 1    |            |    | 3    |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌                |     | 2  | 15   |            | 6  | 15   |
| バンコマイシン耐性腸球菌                  |     |    |      |            | 1  | 1    |
| <i>Legionella pneumophila</i> |     |    |      |            |    | 1    |
| 肺炎球菌                          |     |    | 6    |            | 1  | 26   |
| <i>Neisseria meningitidis</i> |     |    | 1    |            |    | 2    |
| 結核菌                           |     |    | 117  |            |    | 117  |
| 百日咳                           |     |    |      |            |    | 1    |
| その他                           |     | 5  | 4    |            | 7  | 8    |
| 不検出                           | 0   | 0  | 3    | 0          | 0  | 17   |

\*: 定点以外医療機関等(届出疾病の検査依頼)

T(T型別): A群溶血性レンサ球菌の菌体表面のトリプシン耐性T蛋白を用いた型別方法

【 微生物検査研究課 細菌担当 】